

条幅部自由参考

4月25日正午必着

明石春浦先生書



月華星彩坐來收 嶽色江聲暗結愁 半夜燈前十年事 一時和雨到心頭 (杜荀鶴)

明石幸子書



石ばしる 垂水の上の さ 藤の 萌えいづる 春に なりにけるかも (万葉集・志貴皇子)

(石ばしる) 滝の落ち口の上にある蕨が、芽を出して来る春になったことだなあ。

三浦士岳先生書



芳草水東西 春風路欲迷 歸時不覺晚 山與夕陽低 (高青邱)

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

荷風送_レ香 (孟浩然)

荷風香を送る。

蓮の花が風にしたがって香氣を送って来る。

江碧鳥逾白 山青花欲然 (杜甫)
今春看又過 何日是歸年

江は碧に鳥は逾よ白く 山は青く花は然えなんとほっす
今春も看つつ又過ぐ 何れの日かこれ帰る年ぞ

去年の春もそうであったが、今年も果てない旅を続けている。いつの日故郷へ帰れるやら。川のみどりと鳥の白さ、山のみどりと花の赤さ。

寄_二靈_一上人 (劉長卿)

靈一上人に寄す 劉長卿

高僧本姓竺 開士舊名林
一去春山裏 千峯不_レ可_レ尋
新年芳草遍 終日白雲深
欲_下徇_二微官_一去 懸知訝_二此心_一

高僧 本姓は竺 開士 旧名は林
ひと 一たび春山の裏に去り 千峯 尋ね可からず
新年 芳草遍なく 終日 白雲深し
微官に徇って去らんと欲す 懸かに知る 此の心を訝るを

ガラス戸の外に据_すゑたる鳥籠のブリキの屋根に月映る見ゆ (正岡 子規)

半紙部規定課題A

4月25日正午必着

難地
到倭卒
人

※作品には必ず落款を入れてください。

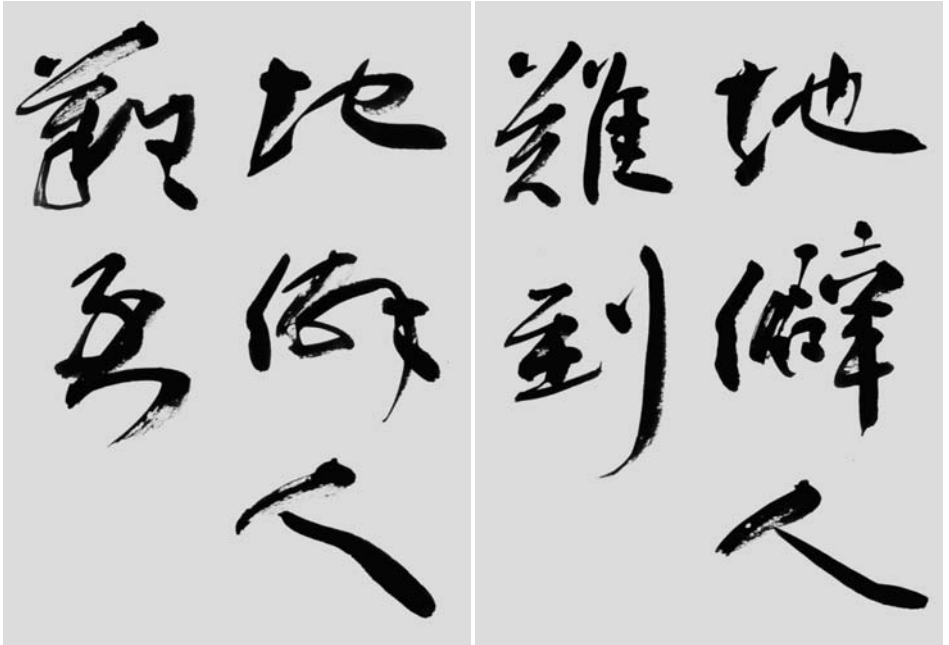
明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

4月25日正午必着

行書



隸書



明石春浦先生書

寄「邪逸人」

鄭常

羨君無外事

日與世情違

地僻人難到

溪深鳥自飛

儒衣荷葉老

野飯藥苗肥

若問湖邊意

而今憶共歸

邪逸人「寄す」

鄭常

羨む 君が外事無く

日に世情と違ふことを

地僻にして 人到り難く

溪深くして 鳥自ら飛ぶ

儒衣 荷葉老い

野飯 藥苗肥ゆ

若し湖辺の意を問わば

而今 共に帰らんことを憶う

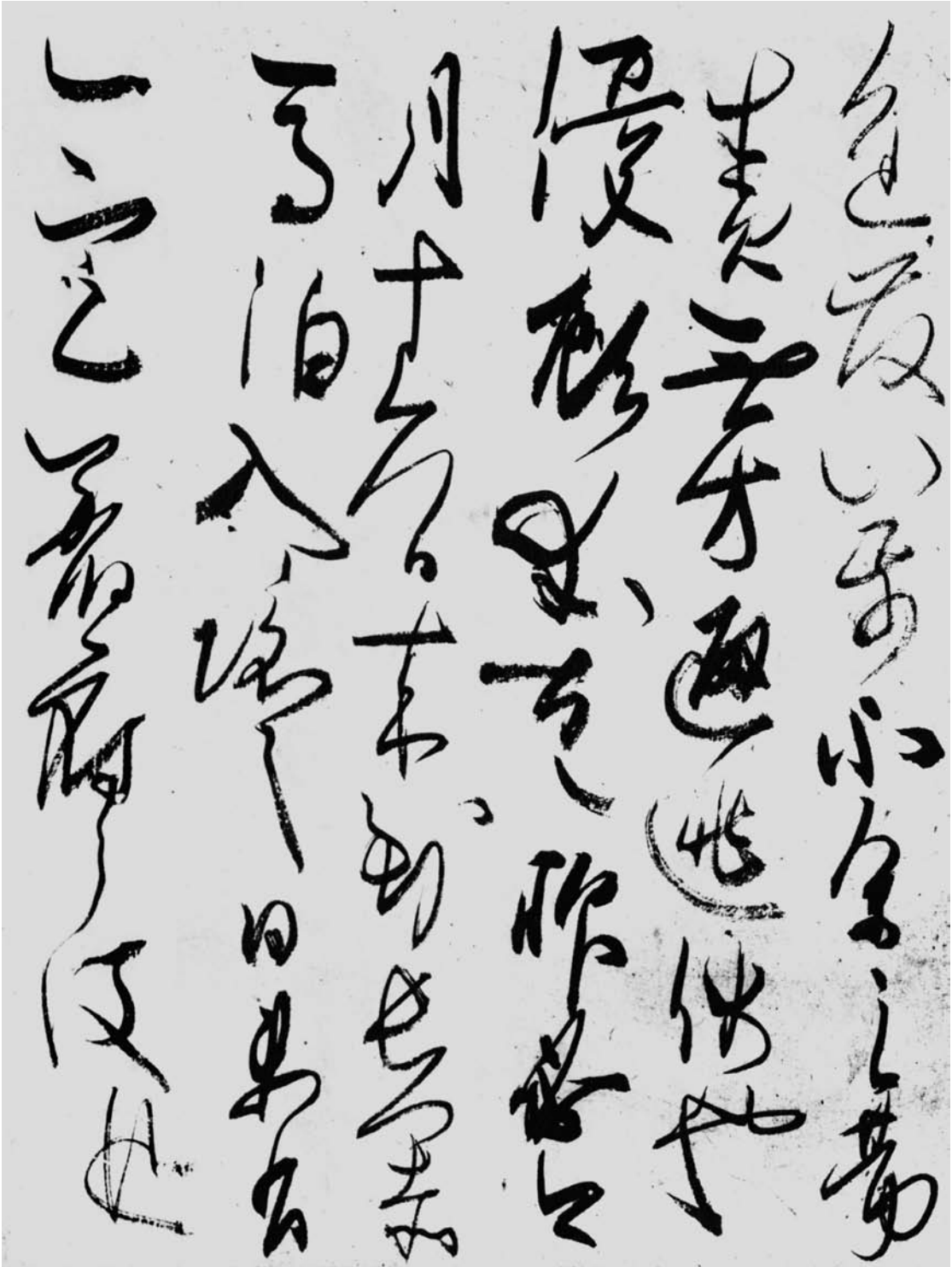
草書

行草書

まったく羨ましい、君は身の雑事にわずらわされることなく、日々、世俗のおもいから遠ざかっていられるのだから、辺鄙なところに住んでいるので、人はめったにやってくる来ないし、谷間の奥深きところ、鳥はおのがじし飛びめぐる。蓮の葉の老いたるをとって儒服とし、葉草の苗の肥えたのをとって、粗末な食事をされる。

もしも湖のほとりに隠棲するつもりがあるのかとおたずねならば、いまも共に帰隠しようとする思いを忘れてはいない。(と答えますよ)

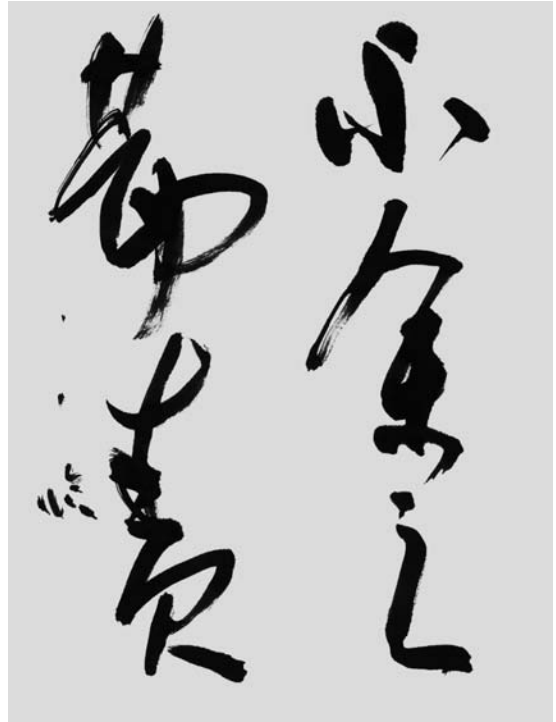
條幅部半紙部臨書課題



進發以前不參之勘責。無^レ方^ニ避逃^ニ許^ス也。優顧幸甚々々。抑^テ佐理^ト今月十六日來到長門赤馬泊。入^レ境^ニ之日。未^レ有^ニ一定。著府之後。追^{ヒテ}



(顧幸甚々々。抑佐理) 今月十六日、長門赤馬の泊に来到す。入境之日、未だ(一定)有らず。



不參之勘責

平安 離洛帖・藤原佐理

藤原佐理(天慶七年〜長徳四年・九四四年〜九九八年)は藤原鎌足十二世の子孫で、摂政太政大臣藤原実頼の孫という名門に生まれながら、父の早逝と祖父の死により、最終官位は正三位にとどまった。しかし、佐理は権力には無関心で、その仕事ぶりも適当でわかままであったらしい。

ところが、書においてはその能書ぶりは有名で当代随一の名手と認められ昇進していったのである。(小野道風・藤原行成と共に三跡のひとつで「さり」とも称される)

この離洛帖は佐理四十七歳の正暦二年(九九一年)に太宰大貳の職を拝し九州太宰府に赴任する際、摂政藤原道隆に挨拶をしたことがあったことを詫びた内容を春宮権大夫藤原誠信に宛てて途中の赤間の関(長門)で書いた書状である。

その書風はその性格のごとく自由闊達で、書状であるがゆえの率意書の奔放さがより一層きわだちていて、佐理の書の真髓が最も表出しているもののひとつであると言われている。(春濤)



よう

さん

中学一年

雨宮春聲先生書



ふう

が

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



よう
陽

しゅん
春

小学五年

藤井良泰先生書



かい
解

ひょう
氷

小学六年

森戸春濤書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

4月25日正午必着



てん

によ

小学三年

細谷春誠先生書



の

やま

小学四年

榎戸春龍先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

た こ 小学一年・幼年



藤田幸春先生書

じ ム 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

い	雲の切れ間にまる
月	
が	
顔	
を	
だ	
し	
た	

小学五年

美	美しい春の草花が
し	
い	
春	
の	
草	
花	
が	
広	広い野原をかざる
い	
野	
原	
を	
か	
ざ	
る	

小学六年

湖	湖畔の向こうに見える
畔	
の	
向	
こ	
う	
に	
見	
え	
る	
連	連山は雄大である
山	
は	
雄	
大	
で	
あ	
る	

中学

野	四月の風はさわらかく
山	
を	
春	
の	
色	
に	
染	
め	
る	
四	四月の風はさわらかく
月	
の	
風	
は	
さ	
わ	
ら	
か	
く	

一般(級位)

霞	霞たつ春の山邊は遠けれど
た	
つ	
春	
の	
山	
邊	
は	
遠	
け	
れ	
ど	
吹	吹き来る風は花の香ぞする
き	
来	
る	
風	
は	
花	
の	
香	
ぞ	
す	
る	

一般(段位)

霞かすみたつ春はるの山邊やまべは遠とほけれど 吹ふき来くる風かぜは花はなの香かぞする (在原元方おりのわらのもとかた)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

お	い
た	け
ま	の
じ	な
ゃ	か
く	の
し	

幼年

さ	川
え	の
ず	き
る	し
ひ	べ
ば	で
り	

小学一年

も	な
ん	の
白	花
ち	ば
よ	た
う	け
	の

小学二年

さ	こ
く	の
ら	川
の	ぞ
名	い
所	は
だ	

小学三年

う	春
か	の
ん	空
だ	に
白	ぽ
い	っ
雲	か
	り

小学四年

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

あしびきの山の三寺のいとなみにおりけんはたと見ることかなしさ

あしびきの山の三寺のいとなみにおりけんはたと見ることかなしさ

あしびきの山の三寺のいとなみにおりけんはたと見ることかなしさ

あしびきの山の三寺のいとなみにおりけんはたと見ることかなしさ



岩本景楓先生書

あしびきの山やまの三寺みでらのいとなみにみおりけんはたと見みることかなしさ
日本農能郡二利道无者多度（会津八一）